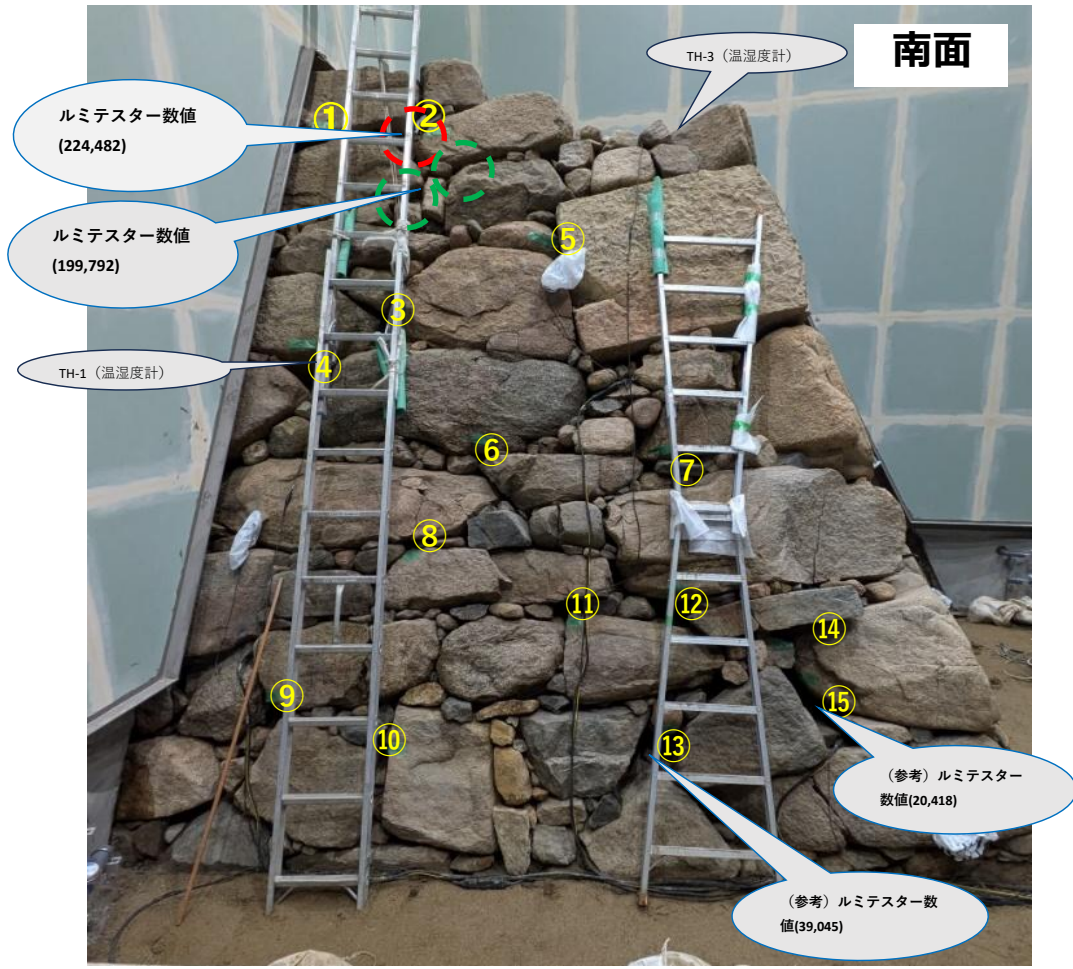


観察位置	観察者（植木・櫻田）	観察日（20251212）
観察位置	観察メモ	ルミテスター数値
①	白化や白カビの発生はないが、石肌が濡れて奥の土も湿っている	—
②	白化や白カビの発生はない。乾いている。	—
②の下	No.2 の下の築石の間。定期観察の場所ではないが、石肌が濡れており、土も湿っていてカビと思われる白い物質が点群で見られる（20251127に発見した）・・・写真④	224,482
②の下斜左下	石肌が濡れており、土も湿っていて、奥の方でカビと思われる白い物質が塊状で発生している。（今回発見）・・・写真⑤⑥	199,792
②の下斜右下	石肌が濡れており、土も湿っていて、奥の方でカビと思われる白い物質がわずかに発生か。（今回発見）	—
⑬	石材のくぼみでリング状に白化している。状態変わらず	39,045
	前回計測（20241126）	(23,358)
⑮	裏込め内、奥の土が白化、全体には乾いている。状態変わらず	20,418
	前回計測（20241126）	(33,203)
⑰	石の裏面が濡れている。最初（20241126）に結露が見られた場所	—

気づいたこと

- ・石垣周辺地盤の砂は乾燥が進んでいる。
- ・石垣天端に近いNo.②の下部空隙奥の石材表面と土部分、No.⑰の石下面に水分による濡れが見られる。石垣地盤周辺の砂は乾燥が進む一方で、石垣天端に近い石材の空隙部分で湿度が高くなっており（TH-3）、石材の濡れが見られる箇所も増えている。石材が濡れている箇所で新たに白カビと見られる白色物質が発生している。
- ・②の下、②の下斜左下に発生した白カビ状の物質についてATPふき取り検査を行った。非常に高い数値の結果となり、これまで白化と思われる箇所（⑬⑮）の数値とは桁違いの数値となった。
- ・蜘蛛の巣は変わりなくはっている。

毎月点検時調査箇所（白化、カビ）



20251127 発生確認箇所

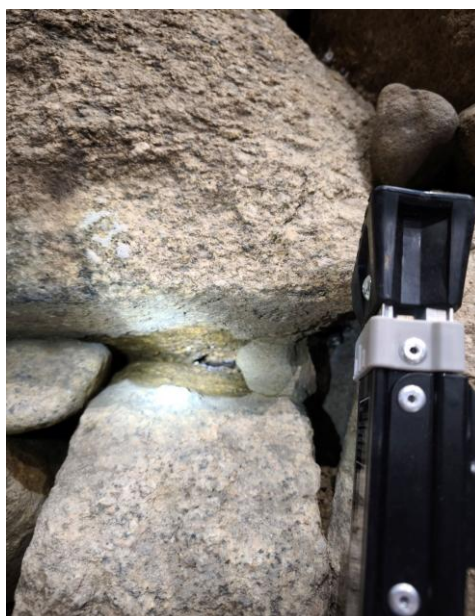


20251212 発生確認箇所

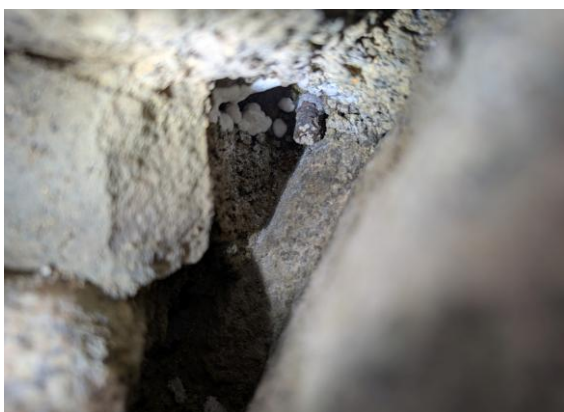




① 観察位置②の下 白カビ状の物質発生状況



② 観察位置②の下斜左下 白カビ状の物質発生状況



③ 観察位置②の下斜左下 (石奥の塊の接写) 白カビ状の物質発生状況



④ 観察位置②の下 周辺状況



⑤ 観察位置②の下 ルミテスター計測状況



⑥ 観察位置②の下斜左下 ルミテスター計測状況

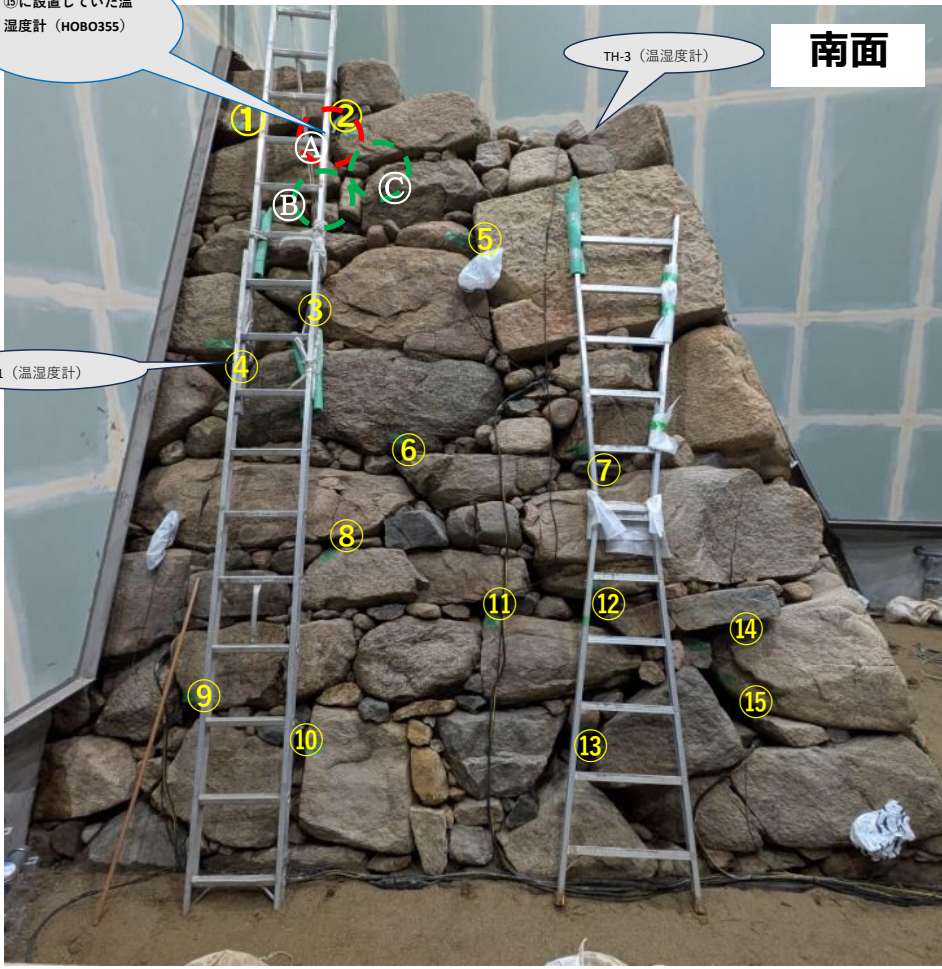
毎月点検時調査箇所（白化、カビ）

⑮に設置していた温
湿度計（HOB0355）

TH-3（温湿度計）

南面

TH-1（温湿度計）



20251127 発生確認箇所



20251212・1225 発生確認箇所

東面

⑳に設置していた温
湿度計（HOB0354）

TH-2（温湿度計）





Ⓐ 白カビ状の物質発生状況



Ⓑ 白カビ状の物質発生状況



Ⓒ 白カビ状の物質発生状況